

# 球磨支援 防災だより

熊本県立球磨支援学校  
令和5年(2023年)2月  
第1号  
文責：防災主任

## ○球磨支援学校の避難訓練

本校では、毎月初期対応訓練と学期に1回ずつの避難訓練を行っています。2学期は、9月に弾道ミサイル発射時の初期対応訓練、10月に火災時の避難訓練、11月に地震時の初期対応訓練を実施しました。

### ●初期対応訓練●

本校で行っている初期対応訓練は、災害発生時の児童生徒、職員の初動に重点をおいた訓練です。災害が起きたとき、まず何をするか(頭を守る、鼻や口を覆う、落ち着いて放送を聞くなど)や、どこに逃げるのか、どんなサイレンが鳴るのかなどについて、この初期対応訓練で確認し、身に付けています。

### ●避難訓練●

避難訓練では、倒壊箇所を設定するなど、災害時を想定しながら、より実践的な避難訓練となるように取り組んでいます。訓練の際は、毎回、上球磨消防署から来校いただき、避難の仕方や避難訓練の実施方法など、より安全な避難に繋がるよう、ご指導・ご講評をいただいています。

10月に実施した火災時の避難訓練では、保健室からの出火を想定し、実際に非常ベルの音や放送を聞いて運動場に避難をしました。児童生徒は、ハンカチや衣服等で鼻や口を覆いながら、落ち着いて避難することができました。



### One point!

火災で危険なのは、炎だけではなく、煙は、一酸化炭素などの有毒ガスを多く含んでいるので、煙を吸わないようにできるだけ姿勢を低くして逃げるのが大切です。また、火元の部屋から逃げる際は、延焼を防ぐために部屋の窓やドアを閉めて逃げることもポイントです。

## ○高等部3年生「防災の学習」をしました

10月6日に、「NPO法人防災WEST」から2人の講師に来校いただき、災害から身を守るために日頃からどのような備えをするとよいのか、災害が起きたときに具体的にどのように行動するとよいのかなどについて学習をしました。

自宅周辺のハザードマップを見て、災害時の危険性についてグループで話し合いながら考えたり、災害時の行動計画「くまもとマイタイムライン」を作成して、どのタイミングで避難をするかどこに避難をするかなどについて考えたりしました。

一人一人が自分自身のこととして考え、学びを深めることができました。



## ○災害用備蓄品(食料・飲料)について

備蓄用食料は、普段食べないものも多くあるかと思いますが、学校から持ち帰った際には、防災について話題にしながら一緒に食べてみてはいかがでしょうか。

また、備蓄食料は、保存のきく物のほかに、普段食べている好みの物で災害時にも食べられる物を、「ローリングストック」としてバランスよく備えておくことも有効です。



球磨支援学校の先生たちに聞きました！

### 『おしえて、あなたの備え！』

- ☆ガソリンは、できるだけ残量が少なくなる前に給油し、満タンになるようにしています。
- ☆ガスが止まったときのために、ガスコンロとガスボンベを買いました。